

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：山田哲弥 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：布野修司 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・建築・都市の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・体系化し、その成果を広く会員に敷衍、設計の質的転換に貢献する活動を継続的に行う。 1) 「コラボレーションによるデザイン」の成果の普及展開 2) 「関係性のデザイン」に関する事例収集・調査研究活動 3) デザイン研究関連他学会との連携：「Design シンポジウム 2008」の企画	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 山田哲弥(清水建設), 日色真帆(愛知淑徳大), 本江正茂(東北大), 奥田宗幸(東理大), 齊藤吉己(東理大), 田浦俊春(神戸大), 竹内昌義(みかんぐみ), 近角真一(集工舎), 仲隆介(京都工織大), 増村昭二(日本設計), 両角光男(熊本大), 門内輝行(京都大), 柳沢和彦(千葉工大), 渡邊朗子(慶應大), 和田浩一(職能大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	設計プロセス研究WG：文献・記事・論文等の収集およびレビューを行い、各研究活動の体系的な見地に立った位置づけを検討 設計支援システムWG：「デザイン環境」としての設計支援システムの研究	
2007 年度予算	274,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/index.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	* 「コラボレーションによるデザイン」を彰国社より刊行予定だったが、校正作業の遅れにより未達成。
講習会	(該当する活動計画なし)
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	* 上記刊行物の発刊遅延により、設計方法シンポジウムの開催を延期。来年度以降に実施予定。
大会研究集会	(該当する活動計画なし) 但し、建築計画部門／研究協議会で、現在の活動内容・成果を報告。
対外的意見表明・パブリックコメント等	(該当する活動計画なし)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1) 未達成 (「コラボレーションによるデザイン」(彰国社・未刊行) 2) 事例収集活動と、関係性の図化手法の検討 3) 「デザインシンポジウム 2008」の企画(2008.11.21-22 慶大日吉校舎にて開催)
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の委員が多く、予算上、参加が制限されるため、調整がしにくい。 ・HP での情報提供内容の基準を明確にする必要がある。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。